漏えい試験ヒアリングシート(仕様書)

JIS C 9335-2-89:2021 「家庭用及びこれに類する電気機器の安全性―第2-89部 業務用冷凍冷蔵機器及び製氷機の個別要求事項」
【Clause 22.113 漏えい試験】

|  |  |
| --- | --- |
| ヒアリング項目 | 回答 |
| 会社名 |  |
| ご担当者名 |  |
| 試験対象の機器の名称とモデル名を教えてください。 |  |
| 試験対象の外形寸法を教えてください。 |  |
| 冷媒の種類と充塡量を教えてください。 |  |
| 冷媒を噴出させる箇所は定まっていますか？※冷却回路の外部部品から，検査対象の電子部品へとつながる配管接合部の近傍とされています。 |  |
| 冷媒の濃度を測定する箇所は定まっていますか？※検査対象となる電子部品の近傍 |  |
| 噴出箇所と測定箇所の組み合わせが何パターンあるか、詳細をご説明いただけますでしょうか？※1パターンの測定には約90分を要します。 |  |
| 自由記入欄　(その他、ご希望の納期、ご要望等)※特に注意が必要な事項や試験に影響を与える可能性がある情報があれば教えてください。 |  |
| 回答日 |  |

エヌ・シー・エス株式会社　サポート support@ncs-ex.comへご送付ください。

★次のページもご覧ください。

【試験の実施について】

* ご依頼者様の事業所に弊社の担当者が出張して濃度測定を行う試験となります。
* 噴出等についてはご依頼者様にて行っていただきます。
* 試験に使用する冷媒（分析表または成分表付き）はご依頼者様にてご準備していただきます。
* 測定に使用する機器は校正されたものをご準備ください。

【予備試験について】

試験を実施するにあたり、以下の予備試験をご依頼者にて行っていただくこととなります。

22.113の試験では、以下の条件を満たしながら、対象となる領域に冷媒を噴出させる必要があります。

|  |
| --- |
| ■冷媒噴出に関する条件■　a)噴出させる冷媒の量は冷媒充塡量の 50%±1.5gであること、これが検証できること　b)冷媒は60分間かけて一定の速さで噴出させること　c)噴出は冷媒の種類ごとに行うこと |

本試験を円滑に、そして確実に行うために、以下を確立する予備試験が必要となります。

・噴出させる具体的な方法(設定)

・噴出量が規定の範囲に入っていることを確認する方法

この予備試験の主目的は、再現性を確保するために、冷媒噴出に関する条件を満たすことができる方法や条件を

見出すことにあります。